

2. 指標設定

成果指標	指標名	養護老人ホーム入所者数	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	55人			総合計画／後期基本計画において、基本施策(1-1-3)の高齢者や障がい者がいきいきと生活できるよう支援する			
活動指標	指標	a	入所施設数	b		c		d
	数値	目標	6ヶ所	目標		目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
養護老人ホーム入所者数	人	44 人	38 人	41 人
		80.0 %	69.1 %	74.5 %

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 入所施設数	ヶ所	5 ヶ所	3 ヶ所	3 ヶ所
		83.3 %	50.0 %	50.0 %
b		—	—	—
		—	—	—
c		—	—	—
		—	—	—
d		—	—	—
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
入所者の介護重度化が目立ち、外部サービスの利用が増えてきた。
対応（改善点等）
個別援助計画を立てることにより、適切な支援を受けるようにする。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
		89,218	76,950	74,892	93,641
うち経常経費		89,218	76,950	74,892	93,641
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他	11,908	10,918	12,227	11,215
	一般財源	77,310	66,032	62,665	82,426
うち経常		77,310	66,032	62,665	82,426
事業費に係る人件費		5,805	5,153	4,097	3,238
事業費に係る人役		1.35	1.20	0.94	0.73

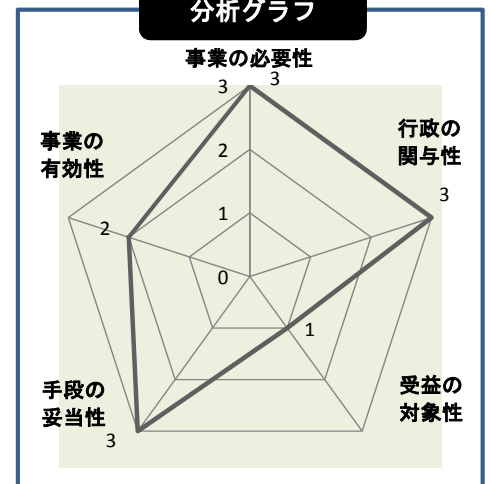
6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
入所者の減少が続いているが、H27年度以降同程度を見込む。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 老人福祉法により規定されている事業。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 老人福祉法により規定されている事業。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 高齢の要保護者の事業である。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 市内養護老人ホーム(常楽荘、三国寮)の役割が大きいが、状況で市外も必要。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 減少傾向にある。

分析グラフ



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	対象者の的確な実態把握と適切な事業実施に努めること。負担金の収納に努めること。